

## 諸 報 告

	ページ
第 1 前回幹事会以降の経過報告	
1 会長等出席行事	1
第 2 各部・各委員会等報告	
1 部会の開催とその議題	2
2 幹事会附置委員会の開催とその議題	2
3 機能別委員会の開催とその議題	2
4 分野別委員会の開催とその議題	3
5 課題別委員会の開催とその議題	15
6 若手アカデミーの開催とその議題	17
7 サイエンスカフェの開催	17
8 総合科学技術・イノベーション会議報告	17
9 インパクト・レポート（2件）	18

## 第1. 前回幹事会以降の経過報告

### 1 会長等出席行事

月 日	行 事 等	対 応 者
12月17日(土)	日本学術会議主催公開シンポジウム「3つのポリシー策定と分野別の参照基準」(早稲田大学小野記念講堂)	大西会長
12月21日(水)	第24回総合科学技術・イノベーション会議	大西会長
12月21日(水)	科学技術外交推進会議第3回会合(外務省)	花木副会長
12月22日(木)	総合科学技術・イノベーション会議有識者会合	大西会長
12月22日(木)	Future Earth Governing Council member: Jean-Marie Flaud氏 表敬訪問	大西会長 花木副会長
1月11日(水)	講書始の儀(皇居)	花木副会長
1月12日(木)	総合科学技術・イノベーション会議有識者会合	大西会長
1月12日(木)	日本学術会議主催公開シンポジウム 情報学シンポジウム(講堂)	大西会長
1月16日(月)	国際コデザインワークショップ: 持続可能な開発目標(SDGs)のための地球観測 —アジアの都市(大会議室)	花木副会長
1月19日(木)	総合科学技術・イノベーション会議有識者会合	大西会長
1月19日(木)	駐日欧州連合代表部 New Year's Reception(駐日欧州連合代表部)	大西会長
1月21日(土)	日本学術会議主催公開シンポジウム「どう実践する! ジェンダー平等 人文社会科学系学協会における男女共同参画推進に向けて」(講堂)	井野瀬副会長
1月23日(月)	日本学術会議公開ワークショップ「Future Earthと学校教育: Co-design/Co-productionをどう実践するか」(大会議室)	花木副会長
1月26日(木)	総合科学技術・イノベーション会議有識者会合	大西会長
1月27日(金)	日本学術会議持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた超学際研究とマルチステークホルダー協働の推進(講堂)	大西会長 花木副会長

(注) 部会、委員会等を除く。

## 第2. 各部・各委員会報告

### 1 部会の開催とその議題

(1) **第一部拡大役員会** (第10回) (1月20日)

- ①人文社会文書について
- ②会員選考について
- ③その他

(2) **第二部役員会** (第6回) (1月27日)

- ①平成29年度夏季部会について
- ②第二部関連分科会の活動状況について
- ③その他

(3) **第三部拡大役員会** (第22回) (1月27日)

- ①次回夏季部会について
- ②その他
  - ・旅費等執行状況について
  - ・提言等の査読委員の指名について
  - ・会員選考について

### 2 幹事会附置委員会の開催とその議題

(1) **広報委員会** (第7回) (1月20日)

- ① 前回議事要旨案の確認
- ② 『学術の動向』の編集について (編集協力)
- ③ 今期の広報活動について
- ④ その他

### 3 機能別委員会の開催とその議題

(1) **国際委員会国際会議主催等検討分科会** (第16回) (1月17日)

- ①ヒアリング審査・選定についての事務説明
- ②平成30年度共同主催保留国際会議ヒアリング審査・選定
- ③平成31年度共同主催申請国際会議ヒアリング審査・選定
- ④その他

(2) **科学者委員会** (第32回) (1月22日)

①提言「第23期学術の大型研究計画に関するマスタープラン（マスタープラン2017）」承認の件

(3) 国際委員会アジア学術会議等分科会（第15回）（1月24日）

①アジア学術会議等分科会（第14回）議事要旨（案）について

②アジア学術会議役員会議、第17回大会開催準備及びミャンマーの学術機関との会合の報告

③アジア学術会議新規加盟について

④アジア学術会議非加盟国調査について

(4) 国際委員会持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議2016分科会AASSA地域ワークショップ準備小分科会（第3回）（1月24日）

①AASSA地域ワークショップ準備小分科会（第2回）議事要旨（案）について

②AASSA地域ワークショップ（東京）について

(5) 国際委員会（第29回）（1月25日）

①国際業務に参画するための特任連携会員の推薦について

#### 4 分野別委員会の開催とその議題

##### 第一部担当

(1) 社会学委員会 討論型世論調査分科会（第4回）（12月17日）

①討論型世論調査の意義について

②今後の分科会の進め方

③その他

(2) 言語・文学委員会 科学と日本語分科会（第8回）（12月17日）

①提言「音声言語および手話言語の多様性の保存とそれに伴う教育的・法（律）的整備」について

②その他

(3) 地域研究委員会 人類学分科会（第6回）（12月18日）

①連携会員の推薦について

②今回のシンポジウム後の提言、分科会計画

(4) 社会学委員会 東日本大震災の被害・影響構造と日本社会の再生の道を探る分科会（第9回）（12月19日）

①分科会のとりまとめについて

②その他

(5) 法学委員会 「セーフティ・ネットのあり方を考える」分科会（第3回）（12月20日）

- ①和田委員報告
- ②2017年1月のシンポジウムについて
- ③2017年4月以降の分科会の進め方および本分科会のまとめについて
- ④その他

(6) 地域研究委員会 多文化共生分科会（第6回）（12月23日）

- ①今回のシンポジウムのすすめ方の確認
- ②今後の提言にむけてのうごき
- ③今後の多文化共生分科会について
- ④その他

(7) 法学委員会 人口減少社会と法分科会（第6回）（12月26日）

- ①緒方桂子委員からの報告と議論  
川口美貴委員からの報告と議論
- ②今後の分科会活動について
- ③その他

(8) 法学委員会 「市民性」涵養のための法学教育システム構築分科会（第5回）（12月26日）

- ①報告
  - (i) 松本尚子委員「ドイツの中等教育における法学授業—ラーテナウ校参観レポート」
  - (ii) 糠塚康江委員「全学教育：基礎ゼミの実践」
- ②今後の課題
- ③その他

(9) 史学委員会 博物館・美術館等の組織運営に関する分科会（第7回）（12月26日）

- ①今期提言案の確定に向けての文書の最終訂正と確認
- ②今期の最終年度、および来期（第24期）の検討課題について
- ③その他

(10) 社会学委員会 社会福祉学分科会（第9回）（1月4日）

- ①提言をまとめる方向性について
- ②福祉サービス供給体制における公的責任のあり方
- ③福祉の公的実施体制の課題と見直しの方向性
- ④提言にもりこむべき論点について
- ⑤その他

(11) 法学委員会 「セーフティ・ネットのあり方を考える」分科会（第4回）（1月11日）

- ①レイ・デルセン氏の紹介
- ②シンポジウムの打ち合わせ
- ③今後の分科会の予定
- ④その他

(12) 心理学・教育学委員会 法と心理学分科会（第4回）（1月13日）

- ①話題提供ならびに質疑

NPO法人チャイルドファーストジャパン理事長 山田不二子

「多機関連携：ワンストップセンター『子どもの権利擁護センターかながわ』の取り組み

- ②今後の課題
- ③次回の予定
- ④その他

(13) 地域研究委員会（第7回）（1月20日）

- ①第24期会員・連携会員候補について
- ②提言・報告の準備・進捗状況について
- ③各分科会からの報告
- ④その他

(14) 第一部 総合ジェンダー分科会（第7回）（1月21日）

- ①シンポジウムについて
- ②今後の予定について
- ③その他

(15) 法学委員会 法学分野における国際交流のあり方を考える分科会（第4回）（1月24日）

- ①報告 西谷 祐子氏「グローバル化の中での法学の変容」
- ②質疑応答
- ③その他

(16) 法学委員会 「市民性」涵養のための法学教育システム構築分科会（第6回）（1月27日）

- ①報告 南野委員
- ②シンポジウム企画について
- ③その他

## 第二部担当

### (1) 農学委員会・食料科学委員会合同 P S A分科会 (第5回) (12月19日)

- ① P S A分科会委員の構成について
- ② 今後の畑井メダルの対応について
- ③ 今後の P S A分科会の活動 (特に共同研究の推進など) について
- ④ P S A評議員について
- ⑤ その他

### (2) 健康・生活科学委員会 家政学分科会 (第13回) (12月24日)

- ① 提言案の検討について
- ② 生活科学コンソーシアムの運営について
- ③ その他

### (3) 農学委員会 地域総合農学分科会 (第7回) (1月10日)

- ① 宜保連携会員から補足の話題提供
- ② 藤井連携会員からの補足の話題提供
- ③ 当期分科会の活動取りまとめ方針
- ④ 24期、25期へ向けた当分科会のあり方
- ⑤ その他

### (4) 基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同 遺伝学分科会 (第4回) (1月13日)

- ① 大学の生物学教育 (特に社会人の生物リテラシー)
- ② その他

### (5) 薬学委員会 生物系薬学分科会 (第5回) (1月13日)

- ① 次回のシンポジウムについて
- ② その他

### (6) 基礎医学委員会・健康・生活科学委員会合同 パブリックヘルス科学分科会 (第4回) (1月13日)

- ① 医学部における公衆衛生教育のあり方について
- ② 個人情報改訂にともなう医学系研究倫理指針の改正について
- ③ シンポジウム企画・開催について
- ④ その他

### (7) 臨床医学委員会 放射線・臨床検査分科会 (第6回) (1月13日)

- ① 市民公開講座「ライフサイエンス・臨床医学における  
イメージングサイエンスの展開」について

- ②CT検査による医療被ばく低減に関する提言について
- ③その他

(8) **臨床医学委員会・健康・生活科学委員会合同 生活習慣病対策分科会** (第5回) (1月13日)

- ①提言「働く世代の生活習慣予防ー健診・保健指導の今後の展開ー」について
- ②小児期の予防対策の提言に関する検討(循環器予防学会でのシンポジウムの報告も含む)
- ③シンポジウム等の計画
- ④その他

(9) **食料科学委員会 畜産学分科会** (第6回) (1月13日)

- ①前回分科会以降の活動報告
- ②対外報告(案)の作成と今後の予定(入江正和氏からの意見聴取と意見交換を含む)
- ③公開講演会・シンポジウムの開催
- ④今後の日本畜産学アカデミーの運営
- ⑤その他

(10) **基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同 自然人類学分科会** (第4回) (1月16日)

- ①今後の活動計画
- ②その他

(11) **基礎医学委員会 神経科学分科会** (第4回)、**基礎医学委員会 機能医科学分科会** (第3回)、**基礎医学委員会 形態・細胞生物医科学分科会** (第4回)、**臨床医学委員会 脳とこころ分科会** (第6回) (1月22日)

- ①各分科会における今期活動について
- ②多次元脳・生体イメージングセンターの構築に向けた検討について
- ③今後の基礎医学分科会間および脳科学関連分科会間における連携について
- ④その他

(12) **基礎生物学委員会・統合生物学委員会・地球惑星科学委員会合同 自然史・古生物学分科会** (第4回) (1月23日)

- ①国立自然史博物館設立にむけた活動について
- ②自然史博物館の学芸員資格について
- ③その他

(13) **健康・生活科学委員会 家政学分科会** (第14回) (1月23日)

- ①提言案の検討について
- ②生活科学系コンソーシアムの運営について

③その他

(14) 農学委員会 農業生産環境工学分科会 (第6回) (1月24日)

- ①各WGの活動報告と活動計画
- ②都市農業に関する提言内容の検討
- ③その他

第三部担当

(1) 材料工学委員会 材料工学ロードマップのローリング分科会 (第7回) (12月16日)

- ①シンポジウム開催報告
- ②「報告」について
  - ・査読結果の報告
  - ・査読結果に対する対応
  - ・報告の分科会承認
- ③その他
  - ・活動の総括、今後の計画等

(2) 土木工学・建築学委員会 地球環境の変化に伴う風水害・土砂災害への対応分科会 (第8回) (12月19日)

- ①提言素案に関する意見交換
- ②その他

備考：提言素案に関する意見交換に際して、林春男 国立研究開発法人防災科学研究所理事長及び矢守克也 京都大学教授にご出席いただき、お二人からもご意見を伺う。

(3) 化学委員会 (第9回)、化学委員会 化学企画分科会 (第4回) 合同会議 (12月21日)

- ①記録について
- ②来年度の分子研所長招聘会議企画
- ③今後の活動について
- ④その他 (マスタープラン、会員選考、光と影)

(4) 総合工学委員会・機械工学委員会合同 工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会 (第7回) (12月21日)

- ①小委員会活動の報告
  - ・安全目標小委員会
  - ・車の自動運転検討小委員会
  - ・老朽および遺棄化学兵器の廃棄に係るリスク評価とリスク管理に関する検討小委員会

- ②安全目標小委員会報告案審議
- ③車の自動運転検討小委員会提言案審議
- ④老朽および遺棄化学兵器の廃棄に係るリスク評価とリスク管理に関する検討小委員会報告案審議
- ⑤その他

(5) 化学委員会 有機化学分科会 (第3回) (12月21日)

- ①有機化学分野での博士課程の教育の課題
- ②その他

(6) 化学委員会 分析化学分科会 (第7回) (12月21日)

- ①シンポジウム「我が国の計測プラットフォームをどのように構築すべきか」の検討および今後の予定について
- ②今後の政策提言について
- その他

(7) 化学委員会 高分子化学分科会 (第4回) (12月21日)

- ①今後の活動方針
- ②その他

(8) 化学委員会・総合工学委員会・材料工学委員会合同 触媒化学・化学工学分科会 (第10回) (12月21日)

- ①意思の表出に向けての議論
- ②今後のシンポジウムについて
  - ・「資源循環社会を構築するための技術とその社会実装への取り組み」
- ③環境学委員会環境科学分科会との「共同提言」について
- ④その他

(9) 化学委員会 生体関連化学分科会 (第3回) (12月21日)

- ①生体関連化学分野における大型研究
- ②その他

(10) 化学委員会 無機化学分科会 (第3回) (12月21日)

- ①無機化学分野の現状と諸問題についての調査結果の報告と討議
  - (i) 博士課程教育及び学位取得者に対する諸問題
  - (ii) 無機化学の研究、教育についての社会的要請
  - (iii) 無機化学の学術動向

(11) 化学委員会 物理化学・生物物理化学分科会 (第4回) (12月21日)

①第23期の活動方針について

- (i)・物理化学・生物物理化学の将来ビジョンの策定  
・第23期での発信目標
- (ii)他の分科会との連携活動

②その他

(12) 化学委員会 材料化学分科会 (第6回) (12月21日)

①記録作成の進捗状況について

②来年度の活動について

③その他

(13) 化学委員会 IUCr分科会 (第3回)、化学委員会・物理学委員会合同 結晶学分科会 (第3回) 合同会議 (12月21日)

①IUCr 関連

(i) ICSU/ISSC について

- (ii) General Assembly で決定される会長、ECメンバーのノミネーションの状況について

②今後の活動方針

③その他 (マスタープランなど)

(14) 化学委員会 IUPAC分科会 (第3回) (12月21日)

①第23期の活動について

(i) IUPACの活動と連携について

- (ii) 国際活動における人材育成について

②その他

(15) 化学委員会 化学分野の参照基準検討分科会 (第4回) (12月21日)

①参照基準の取りまとめについて

(16) 総合工学委員会・機械工学委員会合同 工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会 安全目標の検討小委員会 (第14回) (12月22日)

①今期「報告」の本文に関する審議

②「報告」の添付資料

③その他

(17) 土木工学・建築学委員会 国土と環境分科会 (第8回) (12月22日)

①提言のとりまとめに向けて (各委員の執筆内容の紹介)

②その他

(18) **地球惑星科学委員会 地球・惑星圏分科会** (第5回) (12月26日)

- ①地球惑星科学関連の大型研究計画等の諸報告
- ②提言(案)「我が国の地球衛星観測のあり方について」
- ③今後の活動計画
- ④その他

(19) **地球惑星科学委員会 INQUA分科会** (第4回) (12月27日)

- ①INQUA 名古屋大会最終報告
- ②第四期層序編年に関わる議論の状況
- ③2017年度代表派遣
- ④2017年度の活動方針
- ⑤その他

(20) **地球惑星科学委員会 地球惑星科学企画分科会** (第8回) (12月27日)

- ①日本学術会議総会及び第三部会報告
- ②地球惑星科学委員会及び各分科会活動報告
- ③大型研究計画マスタープラン2017について
- ④公開シンポジウムについて
- ⑤安全保障技術研究推進制度について
- ⑥日本地球惑星科学連合の動向について
- ⑦提言等の準備状況について
- ⑧24期会員・連携会員の選考について
- ⑨その他

(21) **地球惑星科学委員会** (第10回) (12月27日)

- ①日本学術会議総会及び第三部会報告
- ②各分科会活動報告
- ③大型研究計画マスタープラン2017について
- ④公開シンポジウムについて
- ⑤安全保障技術研究推進制度について
- ⑥日本地球惑星科学連合の動向について
- ⑦提言等の準備状況について
- ⑧24期会員・連携会員の選考について
- ⑨その他

(22) **地球惑星科学委員会 地球惑星科学人材育成分科会** (第5回) (12月28日)

- ①地学地理教育用語検討小委員会設置報告・活動状況
- ②最近の大学改革の現状、入試、高大連携教育課題について
- ③23期における検討課題と記録

④その他

(23) 地球惑星科学委員会 社会貢献分科会 (第4回) (12月28日)

- ①提言・報告内容の検討
  - (i) 各グループ討議
  - (ii) 各グループからの報告
  - (iii) 目次案と各担当の検討
- ②今後のスケジュール確認
- ③その他

(24) 土木工学・建築学委員会 IRDR分科会 (第10回) (1月4日)

- ①IRDR 科学会議について
- ②大型研究計画について
- ③その他

(25) 情報学委員会 (第9回) (1月12日)

- ①議題等 (情報学委員会全体会議)
  - (i) 情報学委員会活動報告
  - (ii) 分科会活動報告
  - (iii) その他

(26) 情報学委員会 情報ネットワーク社会基盤分科会 (第7回) (1月12日)

- ①マスタープラン報告
- ②公開シンポジウム「情報学教育の展望」について
- ③今後の活動予定
- ④その他

(27) 情報学委員会 e-サイエンス・データ中心科学分科会 (第6回) (1月12日)

- ①報告事項
- ②ビッグデータ利活用のトレンドとインパクト  
—調査報告のまとめと意見交換—
- ③その他

(28) 情報学委員会 情報科学技術教育分科会 (第6回) (1月12日)

- ①特任連携会員の紹介
- ②情報教育の参照基準について
- ③その他

(29) 情報学委員会 ユビキタス状況認識社会基盤分科会 (第5回) (1月12日)

- ①分科会からのソーシャルオープンデータの提言について
- ②IoT とソーシャルオープンデータの利活用に関わる公開シンポジウムの企画について
- ③関連技術動向とデータ所有権について
- ④その他

(30) 情報学委員会 ITメディア社会基盤・メディアアーカイブ分科会 (第3回) (1月12日)

- ①ビッグデータ利活用に関わる法制度の検討

(31) 情報学委員会 環境知能分科会 (第7回) (1月12日)

- ①記録作成について
- ②24期に向けての活動計画
- ③その他

(32) 情報学委員会 安全・安心社会と情報技術分科会 (第6回) (1月12日)

- ①「報告」について
- ②今後の分科会活動について
- ③その他

(33) 情報学委員会 ソフトウェア学分科会 (第3回) (1月12日)

- ①「記録」の作成に向けて
- ②次期会員・連携会員候補者の推薦について
- ③その他

(34) 数理学委員会 数理統計学分科会 (第3回) (1月13日)

- ①平成28年度活動経過報告および今後の活動について
- ②その他

(35) 化学委員会・総合工学委員会・材料工学委員会合同 触媒化学・化学工学分科会 (第11回) (1月17日)

- ①今後のシンポジウムについて
- ②意思の表出に向けての議論
- ③その他

(36) 環境学委員会 環境科学分科会 (第8回) (1月17日)

- ①シンポジウムなど
  - 平成28年11月8日(火) 越境大気汚染と酸性雨—現場から将来予測まで— (報告)
  - 平成29年1月17日(火) 資源循環型社会を構築するための技術とその社会実装への取り組み

○平成 29 年 1 月 24 日（火）農業環境分野におけるジオエンジニアリング（気象工学）の推進

- ②環境科学の成果の社会実装に関する提言（仮）について
- ③今後の活動
- ④その他

（37）電気電子工学委員会 制御・パワー工学分科会（第 6 回）（1 月 1 7 日）

- ①第 23 期 意思の表出（提言・報告等）及び記録
- ②今後の分科会活動について
- ③その他

（38）土木工学・建築学委員会 インフラ健全化システム分科会（第 8 回）（1 月 2 3 日）

- ①シンポジウム企画原案の審議
- ②分科会報告（修正案）に関する審議
- ③関連情報
- ④今後の予定など

（39）総合工学委員会・機会工学委員会合同 工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会 安全目標の検討小委員会（第 1 5 回）（1 月 2 3 日）

- ①今期「報告」の本文に関する審議
- ②その他

（40）地球惑星科学委員会 地球・人間圏分科会（第 1 0 回）（1 月 2 4 日）

- ①今期の提言について
- ②提言のフォローアップについて
- ③フューチャーアースについて
- ④出版計画について
- ⑤JpGU-AGU 合同 2017 年大会について
- ⑥その他

（41）環境学委員会（第 7 回）（1 月 2 7 日）

- ①各分科会からの報告
- ②PSA（太平洋学術協会）分科会への委員の推薦について
- ③SDGs 国際シンポジウムについて
- ④我が国における SDGs の展開
- ⑤今後の環境学委員会の進め方
- ⑥その他

## 5 課題別委員会の開催とその議題

### (1) 安全保障と学術に関する検討委員会（第7回）（12月16日）

- ①研究適切性の判断は個々の科学者に委ねられるか、機関等に委ねられるか
  - ・赤林朗先生からの説明
  - ・小沼通二先生からの説明
  - ・鈴木達治郎先生からの説明
- ②安全保障にかかわる研究資金の導入が学術研究全般に及ぼす影響
  - ・吉川 弘之先生からの説明
- ③日本学術会議声明をめぐる議論からの展望
  - ・井野瀬委員からの説明
- ④今後の進め方
- ⑤その他（小松委員と小森田委員からの報告を含む）

### (2) 学術振興の観点から国立大学の教育研究と国による支援のあり方を考える検討委員会（第11回）（12月27日）

- ①提言案についての検討
- ②その他

### (3) 科学技術を生かした防災・減災政策の国際的展開に関する検討委員会（第6回）（1月4日）

- ①前回議事録確認
- ②防災・減災政策の国際的展開に関連する動向や国際会議について
- ③来年度の国際会議について
- ④その他

### (4) 医学・医療領域におけるゲノム編集技術のあり方検討委員会（第4回）（1月5日）

- ①前回委員会の議論に関する論点整理
- ②委員からのゲノム編集の技術に関する事項についてのヒアリング
- ③質疑応答
- ④次回の日程案について
- ⑤その他

### (5) 原子力利用の将来像についての検討委員会 原子力発電の将来検討分科会（第4回）（1月5日）

- ①「東日本大震災復興支援委員会 汚染水問題対応検討分科会」からの報告 和田章委員長
- ②「東日本大震災復興支援委員会 原子力発電所事故に伴う健康影響評価と国民の健康管理並びに医療のあり方検討分科会」からの報告 春日文子委員長
- ③「総合工学委員会原子力事故対応分科会」からの報告 松岡猛幹事

- ④提言について
- ⑤今後の議論の取りまとめについて
- ⑥その他

(6) 科学者に関する国際人権問題委員会国際人権対応分科会 (第7回) (1月13日)

- ①前回議事要旨の確認
- ②国際情勢報告
- ③国際人権ネットワークパナマ会議報告
- ④ICSU 会議報告
- ⑤その他

(7) 安全保障と学術に関する検討委員会 (第8回) (1月16日)

- ①審議経過の中間とりまとめについて
- ②その他

(8) フューチャー・アースの推進に関する委員会 (第11回) (1月19日)

- ①FEの国際動向
- ②FEの国内体制について
- ③FEの今後の研究推進と予算措置へ向けた方策
- ④FE推進に向けたオープンな勉強会(仮称)について
- ⑤その他

(9) 放射性核種による汚染に係る環境浄化の基礎科学に関する委員会 (第2回) (1月19日)

- ①研究課題について  
原子力機構における環境回復に向けた研究開発について  
(日本原子力研究開発機構 宮原要氏)
- ②今後の議論の進め方について
- ③その他

(10) 学術研究推進のための研究資金制度のあり方に関する検討委員会 (第9回) (1月20日)

- ①提言の取りまとめについて
- ②その他

(11) フューチャー・アースの推進に関する委員会 持続可能な発展のための教育と人材育成の推進分科会 (第7回) (1月23日)

- ①フューチャー・アースの動向について
- ②IYGU (国際地球理解年) について
- ③本分科会後の公開ワークショップについて

- ④来夏に開催予定の公開シンポジウム (or 学術フォーラム) の準備について
- ⑤その他

## 6 若手アカデミーの開催とその議題

### (1) 若手アカデミー会議 (第4回) (12月27日)

#### ①ご講演および意見交換

吉川 弘之氏

(国立研究開発法人 科学技術振興機構特別顧問、元日本学術会議会長)

#### ②若手アカデミー各分科会等からの報告

#### ③若手アカデミーメンバー (特任連携会員) 選考について

#### ④その他報告

### (2) 若手アカデミー 若手科学者ネットワーク分科会 (第5回) (12月27日)

#### ①若手科学者ネットワーク・メーリングリストの整備について

#### ②2017年度の若手科学者サミットについて

#### ③その他

### (3) 若手アカデミー イノベーションに向けた社会連携分科会 (第5回) (12月27日)

#### ①公開シンポジウムについて

#### ②学術の動向での広報について

#### ③その他

### (4) 若手アカデミー 運営分科会 (第6回) (12月27日)

#### ①特任連携会員の推薦について

#### ②その他

## 7 サイエンスカフェの開催

なし

## 8 総合科学技術・イノベーション会議報告

### 1. 本会議

12月21日	第24回総合科学技術・イノベーション会議	出席
1月26日	第25回総合科学技術・イノベーション会議	持ち回り開催

### 2. 専門調査会

なし

### 3. 総合科学技術会議有識者議員会合

12月22日	出席
1月5日	休会
1月12日	出席
1月19日	出席
1月26日	出席

## 9 インパクト・レポート

### (1) 科学者委員会・科学と社会委員会合同広報・科学力増進分科会 提言「これからの高校理科教育のあり方」 インパクト・レポート

#### 1 提言内容

(背景)

現代社会は、その維持と発展のために科学・技術との共生が不可欠である。しかし、それらの長足の進歩の結果として、一般の人々との距離は増す一方である。とりわけ、科学・技術を理解しつつそれをどの程度社会に取り込んでいくのかの判断には、専門家だけでなく、一般市民が等しく責任をもつべきである。そのために必要な科学リテラシーを身につけることを目指し、特に従来物理・化学・生物・地学といった4領域の壁を越えてそれらの基礎を学べるような新たな高校理科教育のあり方を提案する。

(提言内容)

(1) 単なる断片的知識の詰め込みでなく、理科の4領域が相互に関連しながら現代社会に密接に影響を及ぼすことに着目して、科学の意義と社会におけるその役割を理解し、課題解決型の能力が育成されるように高校理科の内容を見直すべきである。具体的には、現在の領域別の4つの基礎科目を再編し、「理科基礎（仮称）」という必修科目を新設すべきである。

(2) すべての高校生が、その進路に関係なく、物理・化学・生物・地学の基礎事項を学び科学リテラシーを身につけることができるように、「理科基礎（仮称）」には、少なくとも6単位、できれば8単位を割り当てるべきである。またその実現のために、理科4領域の基礎事項を万遍なく教えることのできる高校理科教員の養成体制を早急に整えるべきである。さらにこの「理科基礎（仮称）」は、大学入試センター試験（あるいはその後継として想定されている統一試験）における必受験科目と位置づけるべきである。

#### 2 採択年月日

平成28年2月8日

### 3 社会的インパクト

#### (1) 政策

提言を出した時期的な関係で、残念ながら現在進行中の高等学校学習指導要領の改定には取り入れられていないが、文科省の担当者からコメントをもらう等、賛否は別としてその内容に関して興味を持ってもらうことができた。

#### (2) 学協会・研究教育機関・市民社会等の反応

2016年4月7日の日本物理学会第71回年次大会における、物理学・天文学の参照基準というシンポジウムで、「日本学術会議提言 これからの高校理科教育のあり方 について」という題目で講演を依頼された。聴衆は、物理学会会員であったが、おおむね賛同を示す意見を多くもらった。

2016年6月4日に東京大学において、この提言をテーマとした日本学術会議シンポジウム「これからの高校理科教育のあり方」を開催した。そこでは、主として物理と化学の高校教員からなる日本理化学協会、テクノロジー企業、国立大学教員養成学部、文科省など、異なる立場の方々に講演をお願いし活発な議論が行われた。必ずしも賛成意見だけでなく批判的な意見も多く出され、それに対して建設的な意見交換が行われた。その時の講演のまとめは『学術の動向』2017年2月号の特集記事となっている。

2016年11月5日にも、サイエンスアゴラにおいて日本学術会議シンポジウム「これからの高校理科教育のあり方」を開催した。そこでは、大学で教養科目として科学を担当している教員、高校の地学担当教員、人文科学大学教員、新聞記者の4名の方々に講演をお願いした。このシンポでは、どちらかと言えば提言を支持する意見が多かったが、提言を実現するためには具体的に教科書を完成させ例として示すことの重要性が強調された。

### 4 メディア

・大学ジャーナルオンライン 平成28年2月15日 「日本学術会議が高校に「理科基礎」新設を提言」というタイトルの記事で提言が紹介された

・JST サイエンスポータル 平成28年3月15日 この提言を紹介した依頼原稿 須藤靖「出口ではなく入り口の高校理科へ」が掲載された

・Japan Business Press 平成28年7月14日 「巷にはびこるニセ科学、どうすれば根絶できるのか？見直しが必要な高校の理科教育」という記事で提言が紹介された

・毎日新聞 平成28年11月26日 朝刊で本提言と学術会議シンポジウムが紹介された

### 5 考察と自己点検

本提言は、まずその理念に対する合意形成を目指し、教員養成などの必要な準備を整えながらその具体的な実現に至る、という時系列を念頭において作成されたものである。しかしながら、特に文科省の担当者や現場で物理と化学を教えている高校教員からは、

高校の時間割に具体的にどう埋め込むのか、また実際にそれを担当できる教員の養成体制になっていない、などの理念以前の現実的困難を指摘する声が多く、理念自体に関する議論を進めるのも容易ではないことが認識できた。その一方で、むしろそのような関係者以外からは多くの賛意がよせられるという状況にある。

すでに上でも述べたように、そのような技術的な問題を後回しにして議論が出来るようにするためにはやはり具体的な教科書の例が存在することが本質であろう。むしろそれは容易なことではないが、今後協力してくれる人たちを組織し、モデルとなる教科書例の作成にも努力して行きたいと考えている。

インパクト・レポート作成責任  
科学者委員会・科学と社会委員会合同広報・科学力増進分科会  
委員長 小松 久男

---

(2) 国際委員会 防災・減災に関する国際研究のための東京会議分科会  
土木工学・建築学委員会 IRDR 分科会  
提言「防災・減災に関する国際研究の推進と災害リスクの軽減  
—仙台防災枠組・東京宣言の具体化に向けた提言—」  
インパクト・レポート

## 1 提言内容

### (背景)

日本学術会議では、IRDR(災害リスク統合研究)分科会及び「防災・減災のための国際研究のための東京会議分科会」における審議を踏まえて、2015年1月に「防災・減災に関する国際研究のための東京会議」を開催した。ここでの議論の結果を「東京宣言」、「東京行動指針」にまとめて国際社会に示すことによって、同年3月の第3回国連防災世界会議で採択された「仙台防災枠組」における科学・技術の重要性の認識を促す基礎を築いた。本提言は、これらの議論および提案を総括し、科学・技術の観点から、世界各国が協調して実施すべき事項とその実施主体および具体的活動、さらに我が国がとるべき行動を提示し、防災・減災の実現を目指したものであった。

### (提言内容)

自然の災いの厳しい日本の中で培った防災・減災の努力と経験を、国際協力を通じて広く世界各国の防災・減災の実現に貢献することが肝要である。その推進のため、ラスト1マイルと言われる市民一人ひとりの防災・減災活動の実践を含め、世界各国が協調して何を実施すべきかについて、国際社会及び我が国がとるべき以下の2つの行動を提案した。

- (1) 科学・技術の分野間連携および科学・技術と社会との連携を強化し、国際協力の下で、以下の観点で各国の研究者と実務者が母国語で全国的防災組織(ナショナルプラットフォーム)の活動を支援する体制づくりを推進・強化すべきである。

- (2) 包括的で、効果的で、持続的な科学・技術と社会の連携による防災・減災支援体制の構築が重要である。そのために、以下の観点で国・地域・地球規模で展開されている科学・技術の研究活動を調整すべきである。

## 2 採択年月日

平成 28 年 2 月 26 日

## 3 社会的インパクト

### (1) 政策

日本学術会議は、「脳と心」、「科学者育成(P)」とともに、「防災」を世界的に重要な課題と位置づけ、平成 28 年 5 月に伊勢志摩で開催される G7 サミット及びつくば市で開催される G7 科学技術大臣会合に対して、科学的根拠に基づく協調のとれたアドバイスを提供すべく、13 ヶ国及びアフリカ地域の科学アカデミーに共同して、G サイエンス学術会議会合を 2 月 18 日、19 日に開催した。同会議の「防災」分野の議論の準備は本提言をもとに設計され、共同声明に色濃く反映された。共同声明は、平成 28 年 4 月 15 日に、島尻科学技術政策担当大臣の陪席の下、日本学術会議の大西会長より安倍総理に直接提出された。また、G7 メンバー国のアカデミーから同様に当該国の政府に提言された。

### (2) 学協会・研究教育機関・市民社会等の反応

国連国際防災戦略(UNISDR)は仙台防災枠組みの実施に関する科学・技術会議を平成 28 年 1 月にジュネーブで開催し、科学・技術を中心に様々なステークホルダーの代表約 700 名の参加して、パートナーシップを組織化し、活動のロードマップの基礎を作成した。

同会議中に、日本学術会議代表が ロバート・グラッサー UNISDR 事務総長特別代表(SRSG)と個別に会談する場が設定され、そこで本提言が紹介され、SRSG から高い評価を受けた。さらに、ジュネーブでの会合に続く科学・技術会合の日本開催について、強い賛同が示された。

それを受けて、日本学術会議では、「科学技術を生かした防災・減災政策の国際的展開に関する検討委員会」を新たに設置し、IRDR 分科会と協力して、会議開催計画を準備しているところである。この会議の目的は、

- (1) 科学・技術諸分野と社会との連携によるナショナルプラットフォームの強化
- (2) 災害リスクの理解と影響評価、および災害リスク軽減に資する科学・技術の現状と将来像に関する統合的知見の取り纏め(シンセシス)

とされており、本提言の実施に向けた取り組みを国際的に議論する計画である。

## 4 メディア

・特になし

## 5 考察と自己点検

本提言は、防災・減災に関わる科学・技術の諸分野が一体となって関係当事者（ステークホルダー）と協力して、ナショナルプラットフォームの強化と国際協力の推進を具体的に提言している。日本学術会議は、この提言を基に、各国のアカデミー、国際機関等との協力でその実現に向けて活動を継続的に強化しており、本提言の意義は極めて高いと評価できる。

インパクト・レポート作成責任  
国際委員会 防災・減災に関する国際研究のための東京会議分科会  
土木工学・建築学委員会 IRDR 分科会  
委員長 小池 俊雄

---